

高木復興大臣宮城県訪問ぶら下がり会見録
(平成27年11月30日(月) 15:15～15:19 於) 山元町)

1. 発言要旨

本日は、名取市、岩沼市、亶理町、山元町を訪問させていただきまして、土地区画整理事業や災害公営住宅、商店街、農業整備事業など、私の就任後13回目となります現地視察を行わせていただきました。

宮城県南部では、復興はかなり進んでいると実感をさせていただきました。農業や商業、なりわいの再生など、復興の進展に応じて生じる新たな課題について、しっかりと対応していく必要があるというふうに感じました。市長・町長ともお会いをいたしまして、名取市長からは、閑上地区の住宅再建が遅れているが、来年度から住民が一部戻ってくる。漁業など、なりわいをどこまで戻せるかが課題である。水産加工団地も計画しておりまして、地元企業だけでなく、福島県からも進出予定である。移転元地については、買取りできない土地が残っており、収益の上がる土地利用を進めることも課題だという話がありました。

また、岩沼市長からは、6集落が地区ごとにコミュニティーを維持して、スピーディーに集団移転した。今後は、畑づくりなどの生きがいがづくりが課題だと。また、仮設住宅から退去して自立していただくことも課題であると。高齢化や子育ては地方創生予算を活用していきたいという話がありました。

亶理町では、おかげさまで復興は順調に進んでいる。9割以上が被災したイチゴ農家も団地に集約して、出荷を再開したと。地方創生とあわせて、イチゴの水耕による生産に取り組む。フィッシャリーナ施設やメガソーラーの整備も進めるということでした。

また、山元町長には、移転元地や買取り対象とならない用地を土地改良事業の換地制度を活用して集積・再配置して、大規模な圃場整備とまちづくり、あわせて進めたい。JR常磐線の復旧も課題だという話をお聞かせいただきました。

私からは、先ほど申し上げましたが、復興の進捗に応じて新しい課題が生じていることを実感いたしましたし、またマンパワー不足の話も出ました。先般の知事会でも、私のほうから、引続き被災自治体に対して職員を各自治体が派遣していただきたいという話をさせていただいたということを、市長・町長さんにお話をさせていただいたところでございます。

今後も、被災地に寄り添いながら、現場主義に徹してきめ細かな対応を行い、被災地復興のさらなる加速化に向け、全力で取り組んでいきたい。今回の視察におきましても、そのような感想を持たせていただきました。私からは以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 今日、ここ中浜小学校を御視察されたということで、こちらは震災遺構として町は残したいという方針だと思うんですが、御覧になった感想を教えてください。

(答) 校長先生初め地域の方、そしてまた生徒の皆さんも頑張っていて、結果犠牲者が出なかったということ、本当にすばらしいことだというふうに思っています。

震災遺構については、これは町の考えということであろうというふうに思います。できるだけ私ども支援をさせていただきたいと、そういうことでございます。

(以 上)